

2018.5.19 SAT 38th Rangaku Concert

第38回蘭岳コンサート



B.GOLSON / WHISPER NOT
W.H.WOODE / BROADWAY
MIHOKO / WE'LL SEE
V.DUKE / AUTUMN IN NEW YORK 他

当日都合により演奏曲目が変更になる可能性もあります。ご了承ください。

2018年 5月19日 (土)

開場 14:30 開演 15:00

室蘭工業大学 大学会館多目的ホール

本コンサートでは、東日本大震災で被災された皆様に対する義援金を募っております。なお、お預かりした義援金は、日本赤十字社を通じて全額お届けしております。皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

室工大マルシェ (原簿) 同時開催
おいしいパンやお菓子
コーヒーをおともに
コンサートをたのしめる!



入場無料

主催 室蘭工業大学 協賛(株)エルム楽器
お問い合わせ 室蘭工業大学総務広報課 TEL:0143-46-5014

MIHOKO / Piano

北海道室蘭市出身。札幌大谷短期大学音楽科卒業、同専攻科修了。
在日中は、ピアノ講師を務める傍ら、ピアノ、オルガン奏者として活動。

2000年に渡米。バークリー音楽大学でジャズを学び、同校パフォーマンス科を卒業。
Magna cum laude でバチエラー取得。

ジョアン・ブラッキーとハービー・ダイヤモンドに大きな影響を受ける。

卒業後、ボストンの有名ジャズクラブを始め、ニューヨークなど多数のライブスポットに出演。

自己のトリオの他、様々なグループのメンバーとして積極的に演奏活動を行っている。

ボストンの二大駅のノースステーション街頭ライブでは、多くの市民が足を止め演奏に聴き入り、高い評判を得た。また、かつてデューク・エリントンなど多数の有名ミュージシャンが演奏を行ったユニオン・ユナイテッド・メソジストチャーチで開催されているジャズ・アット・ユニオンシリーズでは、メリー・ルー・ウィリアムス(歴史的な女性ジャズピアニスト)のトリビュートコンサートで、多くのメリー・ルー作品を演奏し、好評を博す。その一方、ラテンアメリカミュージシャンとも親交を深め、サルサ、ラテンジャズなどのピアニストとしても活動。

毎年ボストン市内や郊外各地で行われるラテンミュージックフェスティバルにも出演。

タイガー大越、キャメロン・ブラウン、ヨロン・イズラエル、ギロ、レイ・ゴンザレスなどと共演。

日本では、毎年札幌芸術の森で開催される「北海道グループキャンプ」に、アシスタント兼通訳としてプログラムスタート時より7年間参加。米バークリー音楽大学の教授、講師らとともに後進の指導に携る。

自己のトリオによるファーストアルバム『We'll See』を2010年にリリース。ボストン最大のFM局WGBHを含む、アメリカ各地のNational Public Radioにてエアプレイされている。同年、レコーディングメンバーによるツアーで室蘭ジャズクルーズを皮切りに新冠町、赤平市、札幌市で開催。2011年、ボストン市内や近郊ジャズクラブにて同メンバーによるCDリリースコンサートが行われ、満席になる人気を集めた。2015年、コネチカット州ハートフォード市で開催のBaby Grand Jazz コンサートに出演、スタンディングオベーションを受ける。

現在は、日本でのライブコンサート、個人やバンドの指導を増やし、アメリカと札幌を行き来しながら活動の幅を広げている。

重松 忠男:SHIGEMATSU TADAO / Bass

1955年北海道釧路生まれ。学生時代より演奏活動を札幌中心に開始。

1980年ごろよりライブハウスを中心に本格的な音楽活動を始める。

1992年Joe Henderson やRon Carter などと録音し米国を中心に活躍中の北海道出身のギタリスト

笹島明夫氏の薦めで妻でもあるボーカルの本居まみとともに渡米。サンフランシスコを中心にベイエリアのミュージシャンとJazz Club『Pearl's』、『Storyville』、『Washington Square Bar & Grill』

『Bocce Café』、『Horizon's』、『Fifth Amendment』等ジャズクラブ、レストランなどでの演奏活動を続けた。

2000年夏シカゴのライブハウス『ラッシュライフ』で数ヶ月活動した後ネバダ州リノに移動。

複数のビッグバンドのレギュラーベーシストとして活動を続けCD『From Reno』を2005年8月に録音。

2005年9月に札幌に戻り演奏活動を再開。Mizuho、Mihoko、板谷大、舘山健二、須山恭一、松本建司、江川美喜夫、エスミー、ハニービー、折原寿一、山本敏嗣、山田敏昭やビッグバンド『銀河鉄道ジャズオーケストラ』といった北海道で活躍しているミュージシャンたちと共演する傍らニセコでスキーシーズン中

にジャズライブ『ハーフノート』を2016年3月まで経営した。2012年秋にハーフノート出演者の板谷大、舘山健二とともにIntroducing The Niseko Jazz Trio と本居まみを加えたOn The Sunny Side Of The Street を発表。海外ミュージシャンとの交流も盛んで笹島明夫、Gene Jackson, David Berkman, Mark Walker, タイガー大越、天野昇子、寺久保エリナなどと共演、日本を代表するジャズボーカリストCharito をゲストにHouse of Jazzや六花亭ふきのとうホールなどで共演

黒田 佳広:KURODA YOSHIHIRO / Drums

札幌生まれ

高校の吹奏楽部でドラム・パーカッションを学ぶ。

大学で音楽活動を開始、様々なイベントに参加しプロとしての基礎を作る。

卒業後はジャズドラマー、ラテンパーカッショニストとして市内ライブハウスを中心に活動。

同時にヤマハ等の教室で講師として後進の指導にもあたる。

タイガー大越、今津雅仁、ペッカー、平田文一、小濱安浩、村田浩、中川喜弘、水森亜土、新田親子等と共演。

自身がリーダーを務める『Johnnie Kuroda & Dixie Prince』はその音楽の明るさから道内各地で好評を博し、2005年より新宿トラッドジャズフェスティバルに毎年出演を果たす。

『A Portorait』『Come On And Here !』『What A Wonderful World』の3枚のCDを好評発売中。